

亀山市人口ビジョン(案)及び亀山市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に関するパブリックコメント意見と市の考え方

(亀山市まち・ひと・しごと創生総合戦略)

意見箇所		意見等	意見に対する対応	
頁	施策等		市の考え方	案の修正
—	全般	総合戦略全体を通して危機感が感じられません。都市間競争に奔走する先進都市とは相当な開きがあります。本市の論調は、総合計画等で使い慣れた言葉で体裁を整えているだけで、具体性と実現性に欠けています。市として踏み込んだ独自性を出すべきではないでしょうか。	<p>本市の人口動態は、人口増加局面から横ばいへと移行している最中にあり、これから本格的な人口減少局面へと移行すると見込まれます。そのため、既に人口減少が進展している自治体に比べると、これまでは人口減少への危機意識が低い側面があったことは否定できません。今回、人口ビジョン及び総合戦略を策定にあたり、今後の人口減少社会への取組意識を高めているところです。</p> <p>また、具体性については、本戦略は全体としての書き込みを施策として記述することとしていることから、具体性が見えにくいと感じられる側面があると考えております。ご意見の趣旨は、市としても重要であると考えておりますことから、今後の具体的な事業の展開にあたっては、十分に留意して進めたいと考えています。</p>	—
—	全般	市政の持続性、高みを展望するなら、これまでの政策に新たな発想の上乗せ必要、5万人都市としての住みよさの質を向上させながら、夢ある亀山市を創造したい。例えば単に寿命を延ばすことではなく、亀山市独自の健康寿命を延ばす政策を展開していただきたい。	<p>政策への新たな上乗せとしては、これまで市の施策等で実施していない出会い・結婚への支援を位置づけるなど、新しい分野へのチャレンジをスタートさせることとしていきます。ご意見にある住みよさの質の向上などについても、本戦略に位置付ける3つの重点プロジェクト（子育てトータルサポートプロジェクト・若者くらし充実プロジェクト・シティプロモーション推進プロジェクト）を中心に進める考え方と通じるものであると考えますことから、今後の具体的な事業展開においてもご意見の趣旨を踏まえ、進めてまいります。</p>	—
P8	基本目標- I まちのシーン①訪れるまち 1)魅力ある地域情報の発信	亀山へ工場や施設を移設したい、新設したい、こんな企業や経営者が続出するような仕掛けが必要、足元を確認しながらも先行投資、先進的な政策を掲げ、積極セールスを	<p>企業誘致に限らず、本市の魅力を積極的に発信していくことは、本戦略の具現化を図るために非常に重要であると認識しておりますことから、積極的なプロモーション活動</p>	—

	◇本市の多様な魅力を強力にアピールしていけるよう、シティプロモーションの方向性を明らかにするとともに、積極的なプロモーション活動を展開します。	行っていくべき。	を展開する本施策を位置づけたところであります。ご意見の趣旨も踏まえ、積極的な施策展開を図ってまいります。	
P9	2)地域の魅力の磨き上げ ◇旧東海道の宿場町である亀山宿・関宿・坂下宿の魅力とつながりを高めるため、それぞれの特色を活かしたまちなみの保存・整備、景観づくりを推進します。	亀山市の最大魅力は交通網、①道路網（新名神、名阪、伊勢道、R1、更に鈴亀道路、亀山南北東西幹線道路整備）②鉄道網（関西線、紀勢線、将来のリニア駅の誘致も含め）、これらを武器に更なる付加価値の向上に取り組むべき。又、歴史的魅力に更なる価値を。	交通拠点性は、本市にとっても大きな強みであると考えており、これまでから企業誘致などにおいてもその強みを発揮し、内陸型工業都市としての成長の基盤となってきたものと考えています。今後もこの魅力を重視し、更なる強化を図る視点の施策や事業も展開していきたいと考えています。 また、歴史文化を活かしたまちづくりについては、近年大きな投資をしてきた分野でもあり、今後もその魅力を更に向上させるため、引き続き積極的に取り組んでいくものとして施策を位置づけているところです。	—
P10	基本目標-I まちのシーン②快適なまち 3)快適な交通ネットワークの構築			
P11	基本目標-I まちのシーン③安全なまち 1)まちの防災力の強化	亀山市の安全・安心度はどんな水準にあるか、危険はいかなるレベルか、他人事の世界で展開されているのでは、故に、展開はファジー、例えば、東日本大震災の教訓は活かしたのか、よしんばいかしてもスピード感が無い。	本市の安全・安心への取組としては、南海トラフ地震などの震災対策としては、内陸都市であることから耐震化促進を中心に進めているところです。また、ソフト面の防災対策としては、地域防災力強化の観点から自主防災組織や市内事業所等との連携強化を図るべく、施策を位置づけております。こうした施策を実施していくに当たっては、ご意見を踏まえ、スピード感を持って取り組んでまいります。	—
P14	◇企業や団体の行う男女の出会いの機会づくりへの支援を行うとともに、市の実施するイベント等を通じた結婚の意義や良さに関する意識啓発及び機会づくりに取り組みます。	この何の変哲もない文章から「出会い」は期待できません。次のような項目について具体的に明記すべきではないでしょうか。 例) みえ出逢いサポートセンター等、都会の女性と過疎地等の男性とのマッチング事業等、積極的なマッチング事業等	出会い、結婚への支援については、先進自治体などで実施される事例などを参考に、民間の活動支援や直接的な支援策の実施を位置づけており、その中に積極的なマッチング事業も想定するところであり、ご意見も踏まえつつ事業実施に取り組んでまいります。	—

P17	基本目標-Ⅲ ライフシーン①働く 1)魅力ある雇用の場づくりと安定雇用の促進	「伊勢志摩サミット」は立地が決め手、「新しいしごと」の創出も同じと考えるならば、亀山は県下一かもしれない、官民一体で新しい仕事創出にチャレンジしていくべき。	本市の交通拠点性などの特性は、県下でも有数のものであると認識しているところであり、意見の趣旨を踏まえ、位置づけた施策を積極的に進めてまいります。	—
	◇恵まれた立地条件や産業基盤等を活かし、成長産業分野などの企業誘致や既存企業の事業拡大による多様な産業の集積を促進し、就労の場の確保と雇用機会の創出を図ります。	<p>言わんとすることは理解できますが、都市間競争を放棄するような陳腐な表現から、創出の可能性は感じられません。実現性のある文面にさせていただきたいと思います。</p> <p>仮に、本市が真に産業の集積を目指すのであれば、他都市に優る立地条件を整えることが前提となります。また、成長産業分野とはいえ、落下傘型の企業誘致の是非は立証されているところです。</p> <p>先進市の後塵を拝さないためには、弱者としてのユニークな戦略を必要とします。これからは、先進市に劣る分野で競争するのではなく、既存農林商工業に軸足をしっかりとシフトするべきではないでしょうか。</p> <p>林業を例にとるなら、市域の6割強を占める山林を次のように活用する方法もあるのではないのでしょうか。</p> <p>(修正案)</p> <p>林業の活性化と雇用の創出、更に循環型社会の実現を目指すため、バイオマス発電によるコジェネレーション及びトリジェネレーションの推進を図ります。</p>	<p>この施策につきましては、本市の特性でもある内陸型工業都市としての産業基盤の充実とその基盤を活かした雇用環境の充実を目指す方向性として位置づけています。</p> <p>一方、ご意見のバイオマス発電の検討につきましては、本戦略には位置づけていませんが、現在市の進める第1次総合計画後期基本計画において施策としての位置付けをしており、ご意見の趣旨も踏まえ、検討してまいります。</p> <p>(参考・後期基本計画抜粋P64)</p> <p>②新たなエネルギーの活用</p> <p>◆木質バイオマス資源等の新エネルギーとしての有効活用を検討します。</p>	—
	◇産学民官連携や農商工連携、コミュニティビジネスの展開などにより、地域資源を活用した地域に根ざす産業の創出を促進します。	<p>案の表現では余りにも抽象的すぎます。まちづくり協議会による「まちづくり」を標榜する本市にとっては、独自性を具体的に主張すべきところではないでしょうか。</p> <p>そこで、福祉・まちづくり・交流など多くのビジネスカテゴリーの中から、何をどのようにセグメントし、誰とどのように進展させていくかに言及する必要があると思います。</p> <p>(修正案)</p> <p>産学官民連携や農商工連携を強化し、地域資源を活用した地域に根ざす産業の創出のほか、コミュニティビジネスを起業できるよう積極的な取組みをします。そのた</p>	この施策については、さまざまな視点からの新たな産業創出促進施策として位置づけており、その展開の中には、ご意見のような展開も想定されるところでありますことから、ご意見の趣旨も踏まえ、積極的な取組を進めてまいります。	—

		め、庁内にコミュニティビジネスインキュベーター室（仮称）を設置し、各地域の優位性と劣位性を把握し、専門機関等と協働して、当面は「まちづくり」の分野からの企業に着手していきます。		
P17	基本目標-Ⅲ ライフシーン①働く	働く者にとり、より優位な職場があれば、キャリアを活かす職場であればと誰もが思う、このニーズに答える為に、行政としてサポート出来ないだろうか、また、亀山の公務員は亀山の市民で（現在もそうなっていると思うが）。	ご意見の趣旨については、労働者にとって重要な課題であり、ひいては市民のくらしの充実にもつながる面であると認識しておりますが、個人の選択によるところが大きく、行政の関与が難しい部分であると考えております。今後の総合戦略を進める上での課題としての認識を持っていくものと考えております。	—
P21	基本目標-Ⅳ 1)自立した地域のまちづくりの支援	地域力を活かす取り組みはなされているが、質、スピードとも物足りない、一方、「市民力」「市民力」と掛け声を掛けるが、そのHOW-T Oがなく無策、まちづくり協議会を突破口と見るがこれとて、画一化されず曖昧。	地域まちづくり協議会については、現在、各地域での設立に向けた支援を進めているところであり、各地域の取組についても、様々な状況であると認識しております。しかしながら、地域まちづくり協議会については各地域の特性に応じた設立が進められており、今後も地域特性を活かし、それぞれの課題解決を図るための取組が進められるよう、積極的に支援してまいります。	—
	◇協働のもとで個性あるまちづくりが進められるよう、協働のしくみを見直し、確立させるとともに、地域における様々な市民活動への支援を行います。	協働によるまちづくりの進展という大きな目的のために、何故、改めて協働のしくみを見直すのか、その具体を前段に入れる必要があると思います。 その理由として、行政と地域が協働すべき事案は、住民の意見を積極的に聴くビックプロジェクトだけではありません。安心で豊かな日常生活を営むためには、地域住民が抱える真の問題や課題を見極め、それらの責任の所在及び双方の役割の範囲を認識し、協働のフィールドを把握する必要があるからです。 (修正案) 協働のもとで個性あるまちづくりを進めるため、地域が抱える問題・課題を見極め対応できるよう、協働のしくみを見直し、(以下同じ)	ご意見の趣旨は、本市の現在進めております地域まちづくり協議会の設立促進の目的とも一致するものと認識しており、重要なものであると考えております。また、本施策については、そうした趣旨も含めつつ、市民、地域、行政が互いに連携、協働によるまちづくりを進めることを目指しており、ご意見の趣旨を踏まえつつ、協働のしくみの見直しに取り組んでまいります。	—
P23	5重点プロジェクト	これまでの延長線で考えるのではなく、大きな発想、新しい政策、子ども政策日本一を目指すくらいの思いで取り	ご意見の子育ての分野については、本戦略を推進するうえでも非常に重要な分野であると考えておりますことか	—

		組んでいただきたい。無論、人、物、金の資源もここに集中させていただきたい。特に体力、徳力は今まで以上に市民力（OG、OB、キャリア）を活かしては。	ら、戦略の中でも特に重点を置き、行政資源の配分を行うものとして位置づける「重点プロジェクト」の一つとして「子育てトータルサポートプロジェクト」を位置づけており、積極的な展開を図ってまいります。	
P26	6戦略の推進と効果検証のしくみ (2)戦略の推進体制 本戦略の推進にあたっては、目的意識を共有しながら、庁内の施策マネジメント体制のもと、総合計画との連動を図りながら、個々の事業レベルでPDCAサイクルによる進行管理を適切に行うものとします。また、戦略の総合的かつ計画的な推進を図るため、組織間の調整や誘導を図る体制整備を行います。	亀山市に結婚式場ある？、産院ある？、よく問われる、直接な関与は無いにしろ、一つのハンディかもしれない。市政と結婚、出産、あまり論じられなかった領域、故に自由な発想、展開が行える、市役所内に部署を設け、思い切った政策を。	ご指摘のとおり、これまでにない新たな分野への取組を位置づけていることから、従来の組織体制では難しい面もあると考えておりますことから、組織間の調整や誘導を図る体制整備も含め、必要な組織体制についても検討してまいります。	—
—	その他	「関の花火」「大市」「納涼祭」「江戸の道シティマラソン」等数多くのイベントが年中行事として定例化されている、しかし市民がキーパーソンとして活動しているとはいえない、一部の人の自己満足にしかないと感じる。	ご意見のイベントも含め、市内において多くのイベントが進められており、市が関与するイベントについても多くは実行委員会など市民の方に参画いただきながら進めているところであり、市民がキーパーソンになっていないとは考えておりません。 ※しかしながら、参画する市民の固定化など、課題となっている面も認識しており、幅広い市民の参画がえられるよう、進めてまいります。	—
—	その他	高齢者が活躍する場は正直あると思う、しかし、その参加者は極わずか、参加は個人的判断だが、成り行き任せではなく、行政が率先してこの課題解決に乗り出していきたい。亀山の年寄りには輝いているとの評価を。	高齢者の方々は、地域活動など様々な場面でご活躍いただいていると認識しており、そうした方々の力が市政の大きな支えになっているものと認識しております。 今後も、幅広い高齢者の方々が、生きがいを持って様々な活動に参画いただけるよう、積極的に取り組んでまいります。	—